

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

当事者A	年齢[35]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[16]年、階級[消防士長]、同様の活動[]、任務[車長]
当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[9]年、階級[消防士]、同様の活動[]、任務[隊員]
当事者C	年齢[28]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[9]年、階級[消防士]、同様の活動[]、任務[]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者C	工場内で人が倒れている事案を受付ける。	
経過2	当事者C	急病人と思い込み救急指令を出す。	
経過3	当事者A	救急指令を受け出場。	
経過4	当事者A	現場到着し、建物内で倒れている負傷者を視認。	
経過5	当事者A	建物内に異変、救助的要素があると判断。	
経過6	当事者A	指令室に状況説明、救助隊の要請。	
経過7	当事者A	付近に多数の野次馬等が存在し、状況説明。	
経過8	当事者A	状況説明するも救助隊到着まで待てないと判断。	
経過9	当事者A	当事者Bとともに建物内へ進入する。	
経過10	当事者B	当事者Aとともに建物内へ進入する。	

【その事例発生時の状況について】

事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	はい

活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

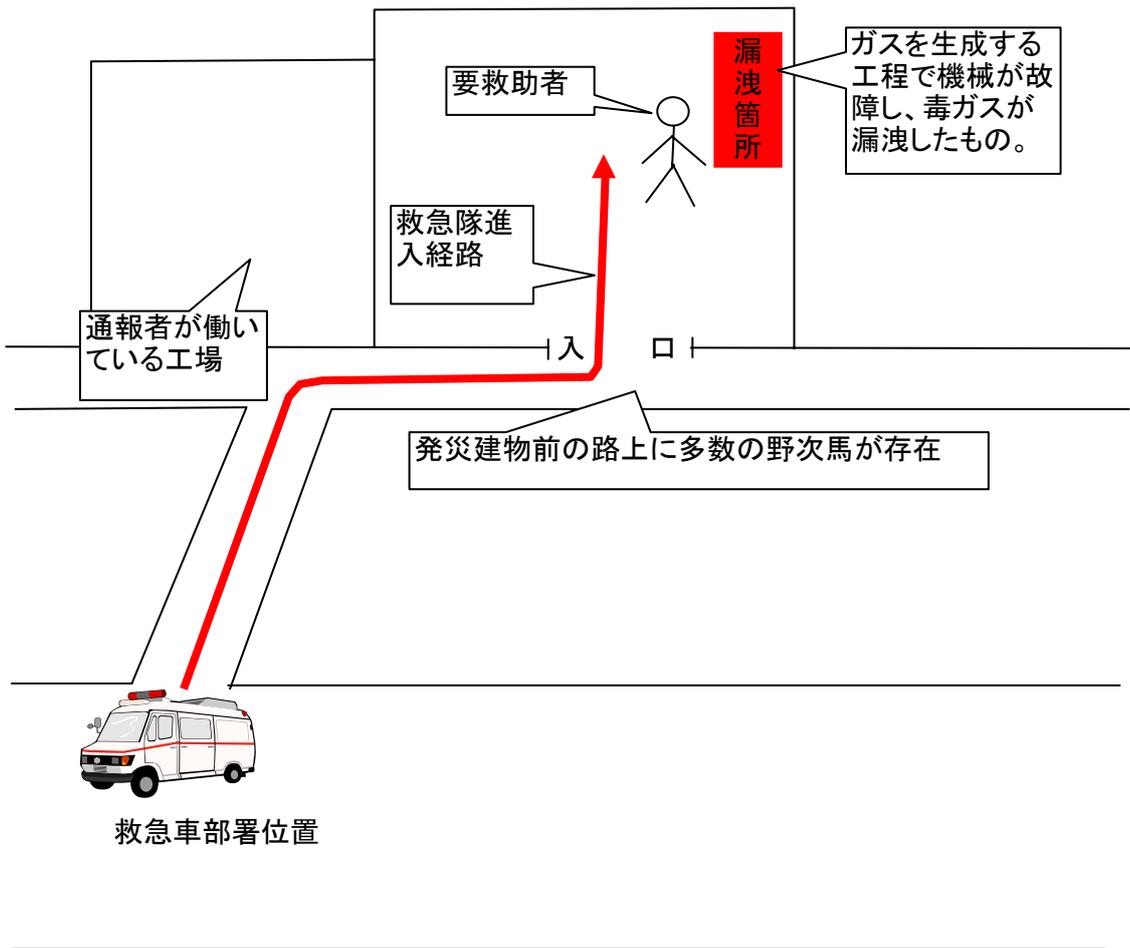
・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

その他

l . その他の理由があった。

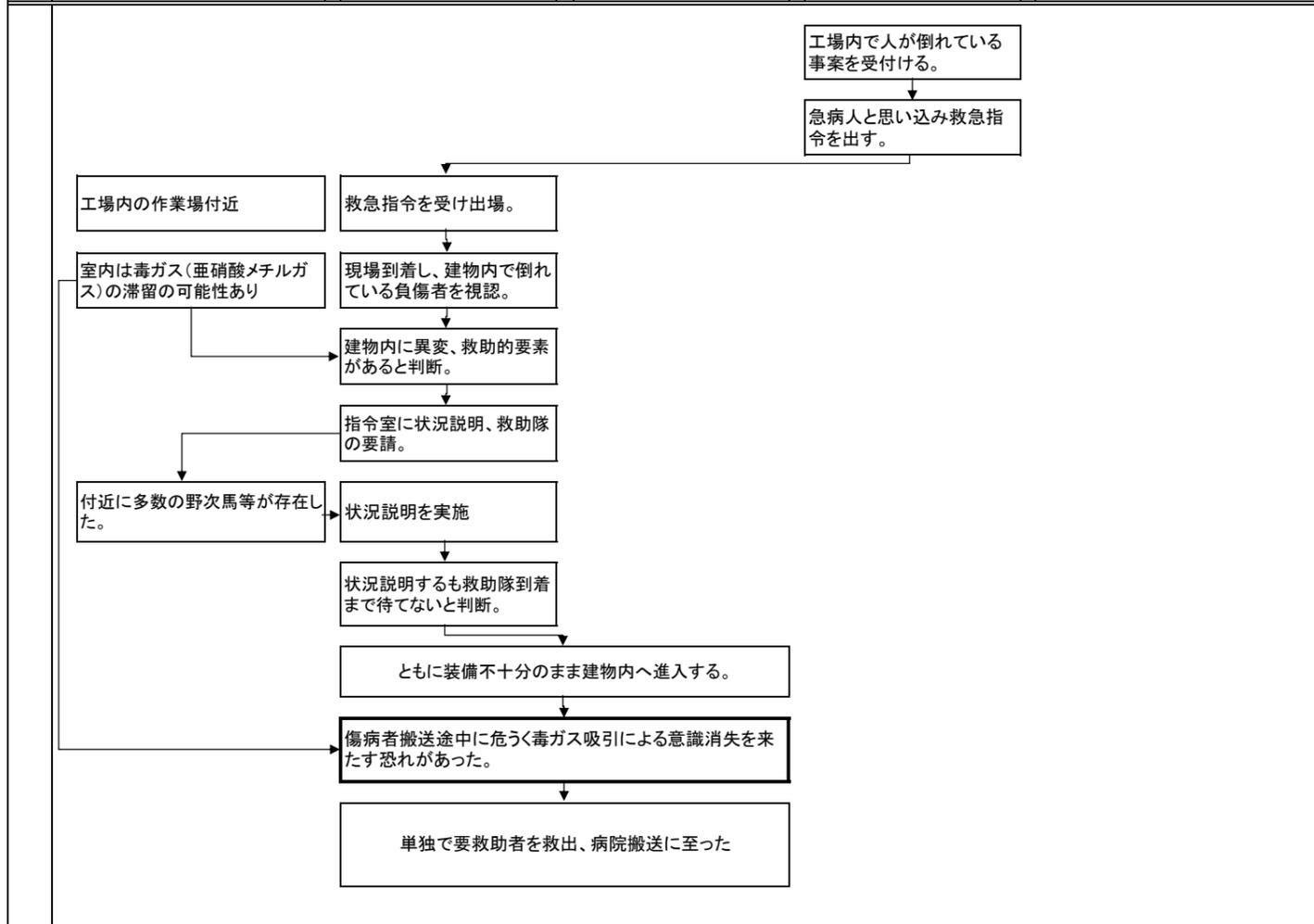
いいえ

毒ガスの滞留事故ヒヤリハット



・発生日時：平成10年6月15日 午前9時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	隊員C	備考
		車長／消防士長 ・年齢 35 歳 ・勤続 17 年 ・現場 16 年	隊員／消防士 ・年齢 28 歳 ・勤続 10 年 ・現場 9 年	隊員／消防士 ・年齢 28 歳 ・勤続 10 年 ・現場 9 年	



◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
- ・危険情報を把握、予見できた。
- ・集中力、注意力があった。
- ・避難・退避がうまくいった。
- ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
 - ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。
 - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
 - ・活動に対する経験が不足していた。
- (装備・資機材について)
 - ・装備・資機材の対処能力を超えていた。
 - ・必要とする装備・資機材がなかった。
- (活動環境について)
 - ・野次馬が多かった。
- (指揮・管理について)
 - ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)
 - ・指示内容に誤り・偏りがあった。
 - ・隊員の連携が不十分だった。
 - ・隊員が不足していた。